

平成29年8月9日に長崎市小江原で発生した突風について
(気象庁機動調査班による現地調査の報告)

8月9日7時20分頃、長崎市小江原（こえばる）で突風が発生し、ゴルフ練習場の鉄製支柱が倒れるなどの被害がありました。

このため8月9日、長崎地方気象台は職員を気象庁機動調査班（JMA-MOT）として派遣し、現地調査を実施しました。

調査結果は以下のとおりです。

(1) 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、ガストフロントの可能性が高いと判断した。

(根拠)

- ・突風発生時に活発な積乱雲が付近を通過中であった。
- ・漏斗雲の目撃や耳に異常を感じたなどの竜巻を示唆する情報は得られなかった。
- ・風は急に強くなり、その状態が10分程度続いたという証言があった。
- ・被害地に近い長崎地方気象台の観測データで、ガストフロント通過時に特徴的な風速の急増、気温の降下、気圧の上昇がみられた。

(2) 突風の強さの評定

この突風の強さは、不明である。

(根拠)

- ・風速を評定するに十分な根拠が得られなかった。

※この資料は、速報として取り急ぎまとめたものですので、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。